

兵庫県保険医協会 但馬支部ニュース

No.119

2010年9月15日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒668-0373 豊岡市但東町久畑1 2 6
高橋診療所 TEL/0796-55-0036 FAX/0796-55-0008

第24回支部総会・市民公開講座

日常ケアに役立つ回想法を楽しく学ぶ

～市民公開講座に50人が参加～



（写真上）様々な楽器を用いて講演する鈴木先生
（写真左）講師の芸人顔負けの話術とテクニックで笑いが絶えない会場

但馬支部は7月11日、第24回支部総会を開催、2009年度活動報告と2010年度活動方針が採択された。新田誠支部長が冒頭の挨拶で「但馬支部が発足して24年、世代交代の時期がきている。若手の先生方の新しい発想を積極的に取り入れ、支部活動に反映してことが今後の課題である」と強調。また、幹事に坂本健一先生（朝来市）が新たに選出された（3・4面詳細）。

総会記念企画では市民公開講座『思い出かたりは元気のもと～日常ケアに役立つ回想法を楽しく学ぶ』というテーマで、出雲市民病院（島根県）鈴木正典先生を講師に開催、会員・市民ら50人が参加した。「回想法」は、高齢者が昔を思い出し懐かしむことを活用しエネルギーを引き出そうという心理療法。参加者の感想を紹介する。

（2面につづく）

（1面からつづく）

感 想 文

「お年寄りに元気与える回想法」

今回の記念講演は、医療・介護・看護に共通したコミュニケーション術としての回想法について、出雲市民病院の鈴木正典医師にお願いしました。

回想法とは何か？ 懐かしい歌や音楽・写真などで、お年寄りに昔話、苦労話、自慢話に花を咲かせていただく、楽しく元気のわくコミュニケーション術です。

講演は「お迎え」のチェロ演奏から始まりました。唱歌や「お富さん」などの歌謡曲について、みんなで歌って、逸話や思い出を語るという実践をしていただきました。

写真からは、メンコをいっぱい持った子どもの写真で、表情からこの子の気持ちはどんなだろうかと推測を聞いたり、メンコの勝ち方の秘訣を聞いたりします。昔の田植えの写真では、近所の人総出で田植えをしており、その周りを子どもが遊んでいます。その時の様子を聞かせていただきます。女性の方はいろいろ聞かせていただきますが、男性の方は口が重く、なかなか話してはもらえません。しかし、技術的なことになるとよく話してもらえるそうです。

洗濯板など昔の生活道具や、三味線や太鼓などの楽器もたくさん持ってきておられて、皆でリズムよく叩いたり、指揮者役の人を選んだり、個々の人の力を引き出しながら講演は続きました。好きなように太鼓を叩いていただいたり、音楽療法の側面も披露していただきました。

私も昔のことを懐かしく思い出していました。最後に津軽三味線の演奏も聴かせていただきました。先生曰く「回想旅芸人」そのものでした。

回想法について、多くの方に習得していただきたいと思いました。

【豊岡市 藤井 高雄】



講師の鈴木先生（写真左）と司会を務めた藤井高雄支部幹事（写真右）

協会ウェブサイトがリニューアル

お知らせ

■兵庫県保険医協会のホームページは <http://www.hhk.jp/>

■会員専用のメーリングリストを開設しております

登録いただける方は下記までお知らせください

e-mail:hyogo-hok@doc-net.or.jp TEL:078-393-1801



新幹事あいさつ

「地域医療を守る」活動の強化を

さかもと医院（朝来市） 坂本 健一



この度、但馬支部の幹事に就任いたしました坂本健一です。

但馬支部の活動は、今までの諸先輩方の努力により、兵庫県内でも立派なものであることを心より敬服しておりました。

今までは活動に参加して勉強させて頂き、知識を吸収するだけの受け身の姿勢が多かったのですが、これからは活動方針の決定や運営に積極的に関わり、微力ながら少しでも活動のお役に立てたらと思います。

但馬は今、医師不足で地域医療が十分に機能していない状態です。今後さらに高齢化が進んでいくなか、ますます地域医療を充実させていかなければなりません。そのため開業医と勤務医が共に「地域医療を守る」活動を継続していかなければならないと考えています。

会員の皆さまも積極的に活動に参加し、但馬支部の活動を盛り上げて頂ければ有り難いです。

幹事会だより

8月21日(土)但馬長寿の郷で第128回幹事会を開いた(3人出席)。以下、主に議論された内容を報告する

- 支部総会では、看護協会、施設職員など広範な参加を得られて良かった。今後、つながりを活かして、医療・介護・福祉等の分野で研修会や懇談会など定期的に開催したい。
- 但馬地域において整形外科の専門医が少なく、一部の病院や診療所に負担をお願いしている状況がある。地域の専門医の先生をお招きし、シリーズ企画として整形外科領域の『他科を知る会』を発足してみてもどうか。

※支部幹事会は、会員の先生であればどなたでもご参加いただけます。お問合せは、協会事務局 078-393-1805 まで。

兵庫県保険医協会但馬支部役員 敬称略 50音順

支部長	新田 誠（豊岡市）	藤井 高雄（豊岡市）
副支部長	森 和夫（養父市）	古澤 倫代（美方郡）
	下山 均（美方郡）	馬庭 幸二（朝来市）
	谷垣 正人（豊岡市）	吉田 仁志（豊岡市）
幹事	金子 元彦（豊岡市）	顧問 片山 覚（養父市）
	坂本 健一（朝来市）	谷 尚（養父市）
	長谷川正宜（豊岡市）	藤澤 通明（美方郡）

二〇〇九年度活動報告

一、第二十三回支部総会は七／十二に開催。記念企画として「但馬の保健・医療・福祉を考える」懇談会を開催。看護協会、老人保健施設、グループホーム、診療所、デイケア、訪問看護、広域療育センター、ケアハウス、医療生活協同組合員や市議員等々、多方面からの参加を得た。今後は、更に広範囲の住民や行政職員にも参加できるように企画も開催予定。また、副支部長として新たに下山均先生（協会理事）、谷垣正人先生が就任された。

二、胸部X P読影と紹介症例検討会は、三／三（六）開催、延べ四十四人が参加した。CTやMRIの画像も用いて多彩な症例を検討し、広範囲の病院から勤務医が参加した。また、勤務医未入会への入会訴えの場として取り組んでいる。

三、医師名簿を作成し、但馬地域に隣接する病院を含む全二十三病院を掲載した。但馬地域の病院・医院からは、「病診連携に役に立つ」と好評を得ている。

四、レセプトオンライン請求研究会を九／二十六に開催。医師・職員ら十六人が参加した。開催にあたり、「レセプトオンライン請求」に関する会員アンケートを実施。三割近くの会員医療機関が「導入に躊躇」、「必要性がない」と回答した。

五、但馬地域で初めて「保険請求事務講習会」を開催（十／十七、十八）。九人が参加した。

六、保険医協会事務局の現地研修として、但馬支部が研修先として受け入れた（協会事務局八人が参加。高橋診療所（新田支部長）、さかもと医院（坂本健一先生）、日本・モンゴル民族博物館、出石福祉まつり&出石精和園祭見学、老人保健施設「出石愛の園」などを見学。

七、第十二回医院運営なんでも懇談会を開催（十二／十九）。大阪府保険医協会の尾内康彦氏が「医療機関のトラブル対策」について報告した。会員、病院職員など九人が参加。

八、診療報酬改定研究会を開催（三／二十八）。六十二人が参加した。

九、医科新点数二次検討会を開催（四／二十九）。会員、スタッフら十六人が参加した。

十、市民公開企画としてたじま医療生協、但馬9条の会と共催で映画「日本の青空II」の「のちの山河」上映会を開催（五／一）。市民ら三百人が参加。上映会では、新田支部長、谷垣副支部長、藤井支部幹事が医療情勢報告を行った。

十一、会員からの要望もあり、職員接遇研修会を開催。会員、スタッフら三十七人が参加。今後定例企画として取り組む。

十二、市民対象に肝臓疾患についての理解を深めてもらうと共催で市民公開講座「もつと知りたい肝臓のこと」を中外製薬様と共催で開催（六／十九）。市民ら百三十人が参加。豊岡市医師会、養父市医師会、朝来医師会、肝炎の会兵庫支部からの後援を得た。

十三、後期高齢者医療制度廃止、「保険適用除外」の意見書採択を求める請願を三月朝来市議会に提出し、紹介議員要請などの取り組みを進めた。

十四、勤務医未入会会員対策として、但馬地域の十三の公立私立病院長宛に新田支部長より紹介状を頂く。公立豊岡病院、公立八鹿病院、公立和田山病院、公立日高病院では医局での資料配布が許可された。

十五、支部ニュースを五回発行し、活動の報道を行った。支部ニュース企画として、朝来市で「開業の坂本健一先生の会員訪問を行った。

十六、支部幹事会は九回開催、研究会等の企画立案を行なった。

二〇一〇年度活動方針

一、病診連携を深める取り組みとして「症例検討会」を新たな形で発足する。

二、「地域医療を考える懇談会」など、医療・保健・福祉の連携を強める機会を設ける。

三、審査指導対策、労務問題、パソコンなど医院の運営に役立つテーマを取り上げ「医院運営なんでも懇談会」を開催する。

四、診療現場を会場に、開業医がお互いに経験を気軽に交流できる場として「日常診療勉強会」を開催する。

五、「病院医師名簿」をさらに充実させる。但馬地域近隣の病院や地域の診療所一覧を引き続き掲載し、病診連携に役立てる。また、但馬地域の介護施設などの名簿も掲載する。

六、幹事による会員訪問を行ない、支部ニュース「但馬の息吹」欄で紹介していく。

七、開業情報をすばやく入手して新規開業医の100%入会を目指す。また、病院訪問とともに開業医と勤務医が一堂に集える企画を開催し、勤務医に入会を訴える。

八、市民公開企画を開催し、地域住民や市民団体との連携を強める。

九、支部ニュースの定期発行を目指す。親しみやすい紙面づくりを工夫する。

十、魅力ある幹事会運営に務め、若手会員の支部行事への参加を促進させる。

十一、保険医協会事務局の現地研修として、但馬支部が研修先として受け入れる。

十二、家族や従業員が気軽に参加できるような場をつくり、互いの交流を促進させる。

十三、文化的な企画を積極的に取り入れ、環境・人にやさしい支部活動をめざす。